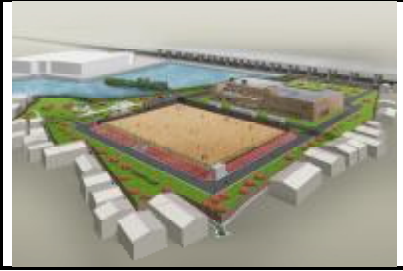


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE新築(簡易版) 2010年 大阪府版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010oskv1.4

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	松原ポンプ場	階数	地下2階 地上2階
建設地	大阪府松原市上田6丁目240-2の一	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居専用地域、準工業地域	平均居住人員	0 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年3月 予定	評価の実施日	2015年1月8日
敷地面積	24,281 m ²	作成者	日建技術コンサルタント北村恭司
建築面積	2,913 m ²	確認日	2015年1月13日
延床面積	7,494 m ²	確認者	日建技術コンサルタント原 弘泰



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆ 30% ☆☆☆☆☆ 60% ☆☆☆☆☆ 80% ☆☆☆☆☆ 100% ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	94%
③上記+②以外の	94%
④上記+	94%

(kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 0.0

音環境	温熱環境	空気質環境
N.A.	N.A.	N.A.

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

機能性	耐用性	対応性
N.A.	3.5	3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

生物環境	まちなみ	地域性・
2.0	3.0	3.0

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物の	自然エネ	設備システ	効率的
N.A.	3.0	4.5	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

水資源	非再生材料の	汚染物質
3.4	3.4	3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

地球温暖化	地域環境	周辺環境
3.2	2.8	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 浄水施設中間ポンプ場の設置にあたり機能の向上と当該用途地域の環境基準を満たし景観や住民に配慮を含んだ計画としています。	その他 注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 騒音対策として機器から発生した騒音は、防音カバーや吸音材を内張りするなどの方策をとり、振動についてはポン	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 当該施設は水道用施設のため利用者に対しサービス性能の	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 敷地内に条件を満たす限りの緑化を行い建物の色は景観を配慮した茶色とし地域の皆様に施設内の花が咲く頃に開放
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 将来、屋上に太陽光発電設備を設置できる荷重を見込んで	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 省エネ性能の高い空調機器を選定しております。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 外部への騒音対策として機器から発生した騒音は、防音カバーや吸音材を内張りするなどの方策をとり、振動についてはポン

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム

大阪府の重点評価(結果)

Osakafu-新築・既存2010V1.03

【建物概要】	建物名称	松原ポンプ場		
	建設地	大阪府松原市上田6丁目240-2の一部,267-38,-39,-43		
	用途/区分	工場		
【評価結果】	CASBEE 総合評価			B+
	CO2削減			3
	省エネ対策			3
	みどり・ヒート アイランド対策			2
	エネルギー消費量の報告			対象外

【評価項目】				
省エネルギー対策		① CO2削減		
		② 省エネ対策		
項目	評価内容	スコア	評価	
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.2	3	
② 省エネ 対策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 3」のスコアによる評価	3	
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価		
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価		3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価		4.5
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価		3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価		3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。		報告する 報告しない
みどり ヒートアイランド対策	③ みどり・ヒートアイランド対策			
項目	評価内容	スコア	評価	
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	2.0	2	
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0		
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	2.0		
その他				
先進的技術の導入	技術の名称	考慮事項		
特に配慮した事項				